

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
健康都市中央地区

平成28年3月
愛知県尾張旭市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	健康だと思ふ市民割合	%	81.0	81.0	87.5	確定 見込み	● ○	あり なし	● ●	89.0	H28年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	WHO健康都市推進事業に加え、総合的な都市基盤整備の取り組みによって快適で健康な暮らしを支える住環境の向上がみられ、指標の改善につながっている。
指標2	秩序とやすらぎを感じるまちが形成されていると思ふ市民割合	%	38.2	48.6	38.7	確定 見込み	● △	あり なし	● ●	38.8	H28年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	近年の土地区画整理事業等による整備済市街地の面積変動が小さいことから、指標数値の伸びが鈍化していると思われるが、土地区画整理事業による都市基盤整備をベースとして、安全安心なまちづくりにつながる各種事業は着実に進捗している。
指標3	水辺空間を利用している市民割合	%	52.5	53.6	47.7	確定 見込み	● △	あり なし	● ●	50.4	H28年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	矢田川散歩道は段階的に整備を進めており、今後の継続的整備を踏まえ、もう少し長期的視点で整備効果を評価する必要があると考えている。しかし、矢田川に親しむ会等によるまちづくりへの活動(ウォーキング大会等イベント開催・清掃・植栽等)が活発に行われており、事業を通じた地域コミュニティの創造・活性化に寄与している。
指標4	子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	%	67.3	73.1	73.0	確定 見込み	● ○	あり なし	● ●	72.4	H28年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	保育施設の改修・拡充に加え、総合的な都市基盤整備の取り組みによって子育て環境の向上がみられ、概ね指標の改善につながっている。なお、土地区画整理事業による良質な住宅供給によって、若年世帯の増加・人口増(児童数増)につながっており、さらなる子育て支援へのサポートが必要と考えている。
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	秩序ある街区となっている市街地面積割合	%	53.3	53.4	53.4	確定 見込み	● ●	あり なし	● ●	57.3	H27年12月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業をベースに秩序ある街区形成に寄与する各種事業の取り組みによって、現場レベルでは快適で健康な暮らしを支える住環境が確実に向上している。数値的には、土地区画整理事業の完了(換地処分)に合わせて面積計上することになっており、旭前城前地区の若干の事業完了の遅れによって、数値の伸びはさほど大きくはない。
その他の数値指標2	水辺に親しめる場所・空間への市民満足度	%	82.2	86.4	86.4	確定 見込み	● ●	あり なし	● ●	83.3	H28年3月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	指標が「水辺空間を利用している市民割合」では、期待した利用者増加にはつながらなかったが、満足度の視点に立った場合、安定的な満足度の増加傾向がみられ、H25で86.4%に達している。尾張旭市はため池等の水辺を活かした観水公園や継続整備中の矢田川散歩道など水辺空間に親しめる場所・空間が多くあることが、市民満足度に寄与している。
その他の数値指標3						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	健康に取り組む市民サポート	・WHO健康都市推進事業や矢田川等河川敷でのウォーキングイベント等を継続的に開催。	・市民が参加できる定期的な健康講座やウォーキングイベント等の開催により、健康への意識が向上され、イベント等への参加者が増加した。	・高齢化社会の進展とともに、健康意識レベルの向上がみられることから、健康づくりへの市民ニーズの変化に対応した各種支援事業に継続的に取り組む。
	住環境改善への都市基盤整備	・土地区画整理事業及び公園事業を中心とした基盤整備事業を推進。	・都市再生整備計画事業で土地区画整理事業及び公園事業を推進し、基盤整備が図られた。 ・土地区画整理事業地内の3公園を整備。	・土地区画整理事業によって整備された良好な住環境は、防災面・健康面で快適な暮らしを支えるものであり、継続的に土地区画整理事業や公園整備を積極的に推進する。
	子育て環境の整備充実	・基盤整備の推進により子育て環境の改善を図り、併せて公園を整備。 ・既存保育園(川南、茅ヶ池)の定員増。 ・待機児童対策として、当市では初めて、小規模保育事業所(三郷町及び東栄町)を平成28年度から開設することを決定。	・土地区画整理事業地内の3公園を整備。 ・定員増加等を行い、待機児童数解消に努めた。	・公園整備、保育園等の耐震改修、駅周辺の防犯対策で安全・安心な子育て環境の向上を図っており、引き続き各種子育て支援事業を推進し、待機児童解消、児童クラブの充実等にも注力する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	健康意識の向上を踏まえた健康づくりのサポート	・健康に対する意識の向上を図るとともに、健康づくりのための自主的な活動の推進。	・市民の健康づくり事業や健康づくり活動へ積極的な参加が増え、健康への意識向上が図られた。	・市民の健康に対する意識向上を踏まえ、市民の健康づくりをソフト・ハード両面で支援し、健康づくりの実践を促す。特にハード面では、運動に関する環境整備として、ウォーキングのための歩道ネットワーク形成、大型公園の各種施設整備等が挙げられる。
	遅延する基盤整備の促進	・土地区画整理事業を早期に完了させるため、基盤整備事業を促進。	・都市再生整備計画で土地区画整理事業を実施し、未整備地区の整備が進められた。	・北原山土地区画整理事業は、多くの物件移転を伴うため、計画的な事業推進とその効果発現のためには、事業資金の投下が必要であり、都市再生整備事業の有効活用による資金的支援を継続する。
	未対応の保育園改修 待機児童解消・児童クラブの充実	・既存保育園(川南、茅ヶ池)の定員増。 ・待機児童対策として、当市では初めて、小規模保育事業所(三郷町及び東栄町)を平成28年度から開設することを決定。 ・児童クラブの開設時間を延長。	・定員増加等を行い、待機児童数解消をに努めた。	・子育て環境の向上のために、保育園施設の整備、待機児童解消、児童クラブの充実に注力する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画

けんこう と し ちゅうおう ち く
健康都市中央地区(第3回変更)

あい ち おわりあさひ
愛知県 尾張旭市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	おわりあさひ 尾張旭市	地区名	かんこうとし 健康都市中央地区	面積	952 ha					
計画期間	平成	22	年度	～	平成	26	年度					
					交付期間	平成	22	年度	～	平成	26	年度

目標

大目標「市民が安心して快適な生活を送り、心身ともに健康で充実した暮らしができる環境を整え、いつまでも住み続けたいとなるまちを形成します。」

- 目標1: 市民の体と心の健康づくり…高齢者、子どもだけでなく、働き盛り世代への健康づくりサポートを実施します。
- 目標2: 市民が心健やかにまちとふれあえる環境づくり…都市基盤や公園緑地等の整備と充実を図り、安全・安心など環境に配慮したまちの健康づくりを推進します。
- 目標3: みんなで支え合う社会づくり…地域の子育て環境の整備を実施し、子育て環境の向上を図ります。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

尾張旭市(以下、「本市」という。)は、市北部に「森林浴の森100選」に選ばれた森林公園が立地しているという優れた環境特性と、名古屋の中心までの所要時間が電車で約20分の距離であり、通勤通学に便利という立地条件から、住宅の供給が盛んで住宅都市の性格を強めてきました。また、土地区画整理事業を積極的に推進しており、計画的に整備された市街地が広がっています。その中でも本地区は、市の中心部に位置し、ショッピングセンターなどの生活施設や鉄道など公共交通機関が整い、地区中心には市役所をはじめとする公共機関が集中しています。

さらに、本市は、「WHO健康都市連合」の設立メンバーとして加盟が認められ(平成16年5月15日)、設立メンバーとして『健康づくりのまちづくり』を重要課題として取り組んでいます。そのため、保健・医療の面だけでなく、環境・教育・まちづくりなど様々な面から市民の健康づくりに取り組んでいるところです。

【これまでの取組】

- 尾張旭市第4次総合計画(H16～H25)において「ともにつくる元気あふれる公園都市」を将来像とし、実現に向けた取り組みとして8つの政策を基本とした事業を進めています。併せて、まちづくり総合支援事業として平成12年度より平成16年度まで街路事業、下水道事業、土地区画整理事業を行ってきました。
 - 平成17年度からは、まちづくり交付金に移行し、平成17年度～平成21年度までの計画期間では、「目指します、健康都市」を目標に掲げ、健康都市に向けて「①体と心の健康」「②まちの健康」「③社会の健康」「④文化の健康」の視点から、まちづくり交付金を活かし、市保健福祉センターを中心とした健康推進事業、スポーツ普及事業、自然環境づくりの拠点として維摩池水環境総合整備、それにつながる散策道、シンボルロード整備、旭前城前地区、北原山地区の土地区画整理事業、同事業に併せた下水道事業、道路事業、名鉄旭前駅の自転車駐車場整備、藤池保育園の新築、尾張旭駅、三郷駅のバリアフリー化、公共交通網整備事業、バス購入事業、事業効果分析調査など北部健康地区として整備を実施しました。
- 今後も「心と体の健康⇄まちの健康⇄社会の健康⇄文化の健康」の観点からまちづくりを進め、北部健康地区の成果を維持・向上させるとともに、市域全域へ広げていくための取り組みを実施していきます。

課題

前回の採択期間(平成17年度～平成21年度)において、一定の成果は上がってきたものの、以下の課題が発生しています。

- ①健康だと思ふ人は減少傾向が下げ止まりを見せ、一定の効果は見られましたが、目標値としては未達成となっています。
⇒経済社会背景の影響が強いと考えられますが、健康づくりの取り組みは長期的に腰を据えて裾野を広げていくことが必要です。あわせて、尾張旭市の人口構成は30代が最も多く、裾野を広げるための取り組みが必要です。また、健康に対する意識の向上は見られなかったため、今回の期間では、健康の維持増進に関する取組の支援が必要となります。
- ②区画整理事業やその他基盤整備事業が一部取り残されています。
⇒まちの健康が市民の健康に寄与すると考えられるため、継続した基盤整備関連事業の推進が必要となります。
- ③成果が上がっている内容については、目標として掲げている健康都市としての発展に向けた地区外へのまちづくりの展開が必要となります。

将来ビジョン(中長期)

■尾張旭市第四次総合計画

「ともにつくる元気あふれる公園都市」を将来像とし、実現に向け情報の共有を一層進め、市民・事業者・行政がお互いに自主性を尊重し、それぞれの特性を活かしながら「協働」によるまちづくりを進め、まちじゅうに元気あふれ、まち全体がまるで公園のように快適でやすらぎのある、いつまでも住み続けたいとなるまちを目指しており、その実現を図るため「みんなで支え合う健康のまちづくり」、「快適な生活を支えるまちづくり」、「安全・安心なまちづくり」、「環境と調和したまちづくり」などを政策の柱として、まちづくりを進めていきます。

■尾張旭市健康都市プログラム

第4次総合計画の基本構想に基づき、本市の健康都市施策の基本的な考え方や方向性を示すもです。健康都市という観点から①「寝たきりにさせないまち」、②「外に出かけたいまち」、③「住み続けたいまち」という3つの目標を掲げ、各分野にまたがる関連施策の連携を図り、総合的な方針を示しています。

- ①「寝たきりにさせないまちづくり」…市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組んで、いつまでも元気で自立した生活が送れるまちづくりを進めます。
- ②「外に出かけたいまちづくり」…市民同士の交流や活動が盛んに行われているまちは、まち中に仲間とのふれあいやぬくもりがあふれ、心身ともに充実した生活が送れます。そんなところへ出かけたくなる、出かけやすい環境となるまちづくりを進めます。
- ③「住み続けたいまちづくり」…自然豊かで安らぎのある環境、安心して快適な生活ができるような環境を整備し、本市に住んでいる方が、いつまでも住み続けたいとなるまちづくりを進めます。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
健康だと思ふ市民割合	%	健康状態が「非常に健康である」「まあまあ健康である」「普通」と回答した市民の割合(アンケート調査)	健康づくりのサポートの実施状況を市民の健康状態の割合で評価する。	81.0	平成20年度	平成26年度
秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思ふ市民割合	%	秩序とやすらぎを感じる街が「よく形成されている」「まあまあ形成されている」と回答した市民の割合(アンケート調査)	魅力ある街並み形成の状況を市民の満足度で評価する。	38.2	平成20年度	平成26年度
水辺空間を利用している市民割合	%	市内の水辺空間を「よく利用している」「時々利用している」と回答した市民の割合(アンケート調査)	自然とのふれあいを通じた健康づくりを水辺空間利用に満足している市民の割合で評価する。	52.5	平成20年度	平成26年度
子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	%	子育てしやすいまちだと思ふ「思う」「まあそう思う」と回答した中学生以下の子どもを持つ保護者の割合(アンケート調査)	子育て環境の充実度を子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合で評価する。	67.3	平成20年度	平成26年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■健康づくりのためのサポートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WHO健康都市推進事業などの健康プログラムの継続により、市民の健康増進に対する意識の向上、健康に取り組む市民の増加を目指します。 ・矢田川沿いの散策道整備を行い、自然とふれあいながら健康づくりが出来る場の提供を行います。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設(緑地)：矢田川散歩道整備事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査：事後評価調査策定委託 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WHO健康都市推進事業(市民総元気まる事業、健康づくり教室事業含む)
<p>■安心・安全なまちづくり及び良好な住環境の形成に向けた基盤整備・景観形成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭前城前地区・北原山地区の土地区画整理事業による整備を進めることにより、安心・安全なまちづくりを形成します。併せて、道路・下水道を整備することにより、基盤整備の利便性向上を目指します。 ・市役所へのバスロータリー整備や公園整備など、公共交通網の充実及び良好な住環境形成を図ることでだれもが利用しやすいまちづくりを目指します。 ・コミュニティ施設整備や整備に合わせた耐震性貯水槽設置など市民の安全性・快適性を考慮したまちづくりを目指します。 ・耐震性のない公共施設の耐震工事を行うとともに、地域の防犯対策を実施し、安心・安全なまちづくりを形成します。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園：旭台第3号公園 ・公園：晴丘東公園 ・公園：旭前城前6号公園 ・公園：旭前城前1号公園 ・公園：旭前城前2号公園 ・公園：旭前城前7号公園 ・公園：旭前城前8号公園 ・下水道：北原山雨水排水整備事業 ・高次都市施設(地域交流センター)：コミュニティ施設整備事業(城山) ・土地区画整理事業：旭前城前特定土地区画整理事業 ・土地区画整理事業：北原山土地区画整理事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業：勤労青少年ホーム耐震改修事業 ・地域創造支援事業：防犯対策事業 ・地域創造支援事業：北原山土地区画整理推進事業 ・地域創造支援事業：耐震性貯水槽設置事業 <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備事業(印場庄中線・旭南線・瀬戸新居線・巡検道線) ・コミュニティ施設整備事業(本地ヶ原・東栄) ・公共交通網整備事業 ・区画整理事業(旭前城前・北原山) ・下水道事業(北原山雨水排水、鳴湫雨水幹線) ・公園事業(旭前城前)
<p>■みんなで支えあう社会づくりに向けた地域の子育て環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実や施設の改修工事を行うことにより、地域のなかで、安心して楽しく子育てできる環境の整備を目指します。 ・公園整備や公共交通網の充実など、まち全体が子育てしやすい環境の整備を目指します。 	<p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業：保育園耐震改修事業(川南保育園) ・地域創造支援事業：保育園耐震改修事業(あたご保育園) ・地域創造支援事業：保育園施設改修事業(稲葉保育園)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムなどを通じた地元団体等との連携 本市では、尾張旭市公共施設アダプトプログラムを導入し、市民団体による自主的な維持管理などのボランティア活動を推進しています。今後、整備する公園や散歩道についても、維持管理活動への参画を働きかけることを目指します。 ・広域的な散歩道のネットワーク形成 前回の採択期間(平成17年度～平成21年度)において、山辺の散歩道整備(区域北側)の整備を行い、区域中心部では区画整理事業や、道路事業などの整備を行いました。今回の事業で、区域中心部の区画整理事業などを進め、さらに、区域南側の矢田川沿いの散歩道整備を進めることで、区域全体の散歩道ネットワークが形成され、市民の健康づくりのサポートが可能となります。 ・交付期間中の計画の監理について 交付期間中は、都市整備課が中心となり、定期的に事業進捗状況や、事業進捗上の問題点について関係各課と連携して確認することにより、事業遅延等のリスクを軽減させます。 	

